

平成 28 年度

健康部 保健所 重点施策・事業の進捗状況

(1) 健康・医療に関する電話相談窓口の設置

重点施策・事業 における目標	市民の健康・医療に対する安全・安心を確保するとともに、多様化・高度化する市民ニーズに随時対応するため、健康・医療に関する電話相談窓口（医師・保健師・看護師等が 24 時間対応）を設置します。相談内容としては、医療、健康、介護や出産育児などが対象となります。
平成 28 年度の 取り組み	健康・医療に関する電話相談窓口の開設に合わせて、広報等による周知を行うとともに、チラシ・マグネットシートを作成し、全戸配布します。また、FM ひらかたによる案内や本館 1 階及び別館 2 階待合スペースでの情報発信等、積極的な周知活動を行います。 平成 28 年度当初予算：32,440 千円

9 月末の
進捗状況
【○】

7 月 1 日から「ひらかた健康ほっとライン 24」を開設し、広報等による周知活動に努めている。また、12 月にはチラシ・マグネットシートを作成し、全戸配布を行う予定。

(2) 地域保健・公衆衛生分野における災害対策

重点施策・事業 における目標	地域保健・公衆衛生分野における災害対策について検討を行い、地域防災計画の見直しをはじめ、体制の整備を行います。
平成 28 年度の 取り組み	保健所に「地域災害医療本部」を置き、災害時の地域保健・公衆衛生分野における拠点となるよう、体制の整備を図ります。また、関係部署と連携し、大規模災害発生時における保健所及び保健所職員の役割を明確にするとともに、マニュアル整備や訓練を実施します。

9 月末の
進捗状況
【○】

地域防災計画の見直しに合わせて、地域災害医療本部の設置等、保健所の役割についての庁内調整を進めるとともに、マニュアルの作成に向けた保健所職員によるグループワークを定期的に行っている。

(3) ヘルシーメニューの開発支援

重点施策・事業 における目標	日々の生活の中で、栄養・食生活分野は、がん、心疾患、脳卒中、糖尿病等多くの生活習慣病との関連が深くなっています。一方、本市が実施したアンケート調査によると、外食への依存傾向がみられました。そこで、食を取り巻く環境の改善が食生活面からの個人の健康づくりにつながることから、飲食店に対して啓発を行い、ヘルシーメニューの提供を通じて健康づくりの推進を図ります。
平成 28 年度の 取り組み	今後、市内飲食店で提供していただくヘルシーメニューの基となる本市独自の基準を策定します。策定にあたっては、メニュー開発に協力をいただく飲食店とともに基準づくりを進め、飲食店や利用者からの意見を参考に策定します。 平成 28 年度当初予算：114 千円

9 月末の 進捗状況 【○】	公募による市内飲食店とともに作成したヘルシーメニューを9月から11月まで各店で提供している。あわせて、広報等での情報発信やマスコミへの情報提供を行ったほか、リーフレットを作成する等の周知活動に努めている。
----------------------	--

(4) 「ひらかた健康優良企業」登録制度の創設

重点施策・事業 における目標	本市の人口動態統計（H26）によると、20～64歳の死亡原因の一番はがんで、次いで心疾患、自殺の順となっており、働く世代に対する生活習慣病予防や自殺対策のさらなる取り組みが求められています。本市内の事業所においても、生活習慣病やメンタルヘルス等の課題を抱えている従業員が多く、従業員に向けた健康に関する情報や健康教育を求める声が多いことがわかりました。そこで、そうしたニーズを持つ事業所に直接的な支援を行うことで、働く世代の健康づくりを推進します。
平成 28 年度の 取り組み	「ひらかた健康優良企業」登録制度を創設し、登録された事業所に対して、働く世代をターゲットにした健康に関する情報発信や、事業所向けの健康教育の実施のほか、企業経営と従業員の健康管理に関する講演会の案内を行うなどの支援を行います。 平成 28 年度当初予算：191 千円

9 月末の 進捗状況 【○】	「ひらかた健康優良企業」登録制度を創設し、7月から市内事業所の募集を開始した。登録事業所には健康に関する情報発信として「保健所つうしん」を発行したほか、個別に事業所のニーズに合わせた対応を行っている。
----------------------	--

(5) 食中毒など健康危機事象発生の未然防止

重点施策・事業 における目標	安全で快適に生活できるよう、食品関係施設や理美容所などの生活衛生施設における衛生水準の向上を図り、健康危機事象発生の未然防止をめざします。
平成 28 年度の 取り組み	食の安全・安心への関心が一層高まる中、食品等事業者に HACCP（ハサップ）による衛生管理の手法を普及・啓発し、食中毒などの健康危機事象発生の未然防止に努めます。
	平成 28 年度当初予算：12,489 千円

9 月末の 進捗状況 【〇】	広報を用いて HACCP（ハサップ）による衛生管理を広く周知すると共に、食品等事業者に対して講習会や窓口にて HACCP に基づく衛生管理の手法について普及・啓発し、導入を推奨した。
----------------------	---

(6) こころの健康づくりの推進

重点施策・事業 における目標	身近にこころの相談ができる体制づくりや、疾患の初期段階から適切な相談や支援につなげるためのネットワークづくりを行うことでこころの健康づくりの推進を図ります。
平成 28 年度の 取り組み	専用電話によるこころの健康相談及びモバイル機器を活用したメンタルチェックシステム「こころの体温計」を通して、こころの健康づくりの啓発に努めます。また、健康医療都市ひらかたコンソーシアム参画団体で構成するこころの健康増進部会を中心に、相談から適切な支援につなげるための包括的ネットワークの構築をめざします。
	平成 28 年度当初予算：247 千円

9 月末の 進捗状況 【〇】	専用電話によるこころの健康相談やメンタルチェックシステム「こころの体温計」を実施。ストレスについての講演など市民啓発を目的とした講演会を 3 回実施した。また、健康医療都市ひらかたコンソーシアム「こころの健康増進部会」では、市内医療機関関係者を対象に精神科・心療内科との連携をテーマに講演会とグループワークを開催した。
----------------------	---

(7) 難病対策の推進

重点施策・事業 における目標	難病患者やその家族が地域で安心して過ごせる在宅療養環境を整備します。
平成 28 年度の 取り組み	健康医療都市ひらかたコンソーシアム参画団体に構成する枚方市難病対策分野神経難病対策医療ネットワーク部会を通して、関係団体と情報を共有し、在宅難病患者が抱える地域医療の課題に取り組みます。 平成 28 年度当初予算：7,165 千円

9 月末の 進捗状況 【○】	枚方市域の在宅医療の実態を把握するため、枚方市医師会と共同で7月に市内全医療機関を対象とした在宅医療調査を実施した。 在宅医療推進のため、枚方市医師会、関西医科大学附属病院と共同で在宅医療研修会の企画立案を行った（テーマ：「在宅医療の新しい展開」日時：11月5日（土）開催予定）。
----------------------	---

(8) 歯科口腔保健の推進

重点施策・事業 における目標	歯と口腔の健康が、全身の健康の維持・増進にも極めて重要な役割を果たすことが指摘されています。 市民の健康寿命の延伸をめざす観点から、乳幼児期から高齢期までの、生涯にわたる歯科口腔保健施策の更なる推進を図ります。
平成 28 年度の 取り組み	大阪府内で初めとなる口腔保健支援センターを設置するとともに、後期高齢者歯科健康診査の無料化や2歳6か月児へのフッ化物塗布などを実施するなど、歯科口腔保健の推進を図ります。 平成 28 年度当初予算：32,088 千円

9 月末の 進捗状況 【◎】	4月から、後期高齢者歯科健康診査および2歳6か月児へのフッ化物塗布を実施するとともに、今年度から歯周病検診対象者には、検診案内の個別通知を実施している。
----------------------	--

(9) 妊娠・出産から子育て期までの支援の推進

重点施策・事業 における目標	安心して楽しく子育てできるまちの実現に向け、妊娠・出産から子育て期にわたる切れ目のない支援策を充実させます。
平成 28 年度の 取り組み	妊娠届出時にすべての妊婦を対象とした保健師等による面接を行うとともに、地域を担当する保健師の名前及び相談先を記載したマグネットを配付します。あわせて、母子保健コーディネーターの配置日数を拡充します。また、不妊治療における初回分の助成額を引き上げるとともに、新たに男性不妊治療の助成を実施します。
	平成 28 年度当初予算：491,014 千円

9 月末の 進捗状況 【◎】	4 月から母子保健コーディネーターの配置日数を週 4 日に拡充した。6 月から保健所・保健センターと乳幼児健康相談開催日の各会場に妊娠届出書の受付を集約し、保健師等による全数面接相談を実施。面接時、居住地を担当する保健師名と相談先を記載したマグネットを配付。 特定不妊治療費の助成を 93 件（内、初回申請 31 件と男性不妊治療あり 1 件）実施した。不育症治療費の助成を 11 件実施した。
----------------------	--